



平成 26 年 9 月 12 日

各 位

会 社 名 株式会社オークワ
代表者名 代表取締役社長 神吉 康成
(コード 8217 東証第 1 部)
問合せ先 常務取締役管理本部長 森川 昌幸
TEL 073-425-2481

業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向を踏まえ、平成 26 年 3 月 28 日に公表した第 2 四半期累計期間ならびに通期の業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成 27 年 2 月期 第 2 四半期 (累計)業績予想数値の修正 (平成 26 年 2 月 21 日～平成 26 年 8 月 20 日)
(1) 連結業績予想

(金額単位：百万円)

	営業収益	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益 円 銭
前回発表予想 (A)	142,500	750	1,000	400	8.95
今回発表予想 (B)	136,400	790	1,100	△10～10	△0.22～ 0.22
増減額 (B - A)	△6,100	40	100	△410～△390	
増減率 (%)	△4.3	5.3	10.0	—	
(ご参考)前期実績 (平成 26 年 2 月期第 2 四半期)	144,796	1,074	1,325	221	4.96

(注) 四半期純利益については、特定数値による予想が困難であるため、レンジ形式で表示しております。

- (2) 単体業績予想

(金額単位：百万円)

	営業収益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益 円 銭
前回発表予想 (A)	141,000	900	330	7.39
今回発表予想 (B)	134,800	1,000	△70	△1.57
増減額 (B - A)	△6,200	100	△400	
増減率 (%)	△4.4	11.1	—	
(ご参考)前期実績 (平成 26 年 2 月期第 2 四半期)	143,278	1,226	128	2.88

(3) 修正の理由

第2四半期累計期間の連結及び単体の業績予想修正の要因については、単体におけるスーパーマーケット事業における以下の原因によるものであります。

- ① 第2四半期累計期間において、営業収益に占める直営売上高が前年同期比 $\Delta 6.2\%$ となりました。既存店売上高の前年同期比は $\Delta 5.6\%$ と業種業態を越えた販売競争への価格対応を行いました。消費増税や天候不順等の影響もあり、売上が伸び悩みました。
- ② 一方、販売管理費は、不採算店舗の閉鎖を含む積極的なコスト削減に取り組みました。この結果、経常利益は、減収に伴う利益不足を補い、期初計画から約1億円増加となる見込みであります。
- ③ 四半期純利益は、閉店店舗等の処分に伴う特別損失の計上により、期初計画から、約4億円減少となる見込みであります。

2. 平成27年2月期 業績予想数値の修正 (平成26年2月21日～平成27年2月20日)

(1) 連結業績予想

(金額単位：百万円)

	営業収益	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益 円 銭
前回発表予想 (A)	290,000	3,900	4,350	1,350	30.22
今回発表予想 (B)	273,000	2,200	2,750	$\Delta 550$	$\Delta 12.31$
増減額 (B - A)	$\Delta 17,000$	$\Delta 1,700$	$\Delta 1,600$	$\Delta 1,900$	
増減率 (%)	$\Delta 5.9$	$\Delta 43.6$	$\Delta 36.8$	—	
(ご参考)前期実績 (平成26年2月期)	290,590	3,484	3,923	$\Delta 429$	$\Delta 9.62$

(2) 単体業績予想

(金額単位：百万円)

	営業収益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益 円 銭
前回発表予想 (A)	287,000	4,200	1,300	29.10
今回発表予想 (B)	270,000	2,600	$\Delta 600$	$\Delta 13.43$
増減額 (B - A)	$\Delta 17,000$	$\Delta 1,600$	$\Delta 1,900$	
増減率 (%)	$\Delta 5.9$	$\Delta 38.1$	—	
(ご参考)前期実績 (平成26年2月期)	287,602	3,796	$\Delta 502$	$\Delta 11.25$

(3) 修正の理由

通期の連結及び単体の業績予想修正の要因については、第2四半期累計期間の業績予想修正及び下半期における単体のスーパーマーケット事業における以下の業績予想修正によるものであります。

- ① 第2四半期における直営売上高の推移状況を鑑みて、下半期の期初計画の既存店前年同期比 $+0.3\%$ を $\Delta 5.0\%$ に見直しました。
- ② 単体における直営売上高の見直しに伴う商品荒利益高の減少及びこれらの業績に伴う特別損失の見直しにより、連結、単体ともに、前回の公表値から修正を行うものであります。

※上記の予想は、本資料の発表日において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる場合があります。

以 上